

米国企業の研究から分かった
強力な特許を取るための戦略

— 効果的な2つのフレームワーク —

ウィルフォート国際特許事務所
所長 弁理士 上村 輝之



こんな**悩み**もってませんか？

1. 特許があるのに**模倣**された
2. 特許が**収益**を生みださない
3. 他社特許に遮られ開発が**頓挫**した



強い特許を取る**戦略的**フレームワーク

- ① トリプレックス特許ポートフォリオ
- ② プロアクティブ特許出願メソッド

トリプレックス特許ポートフォリオ

3階建て

未来

未来の領域を先取る

収益

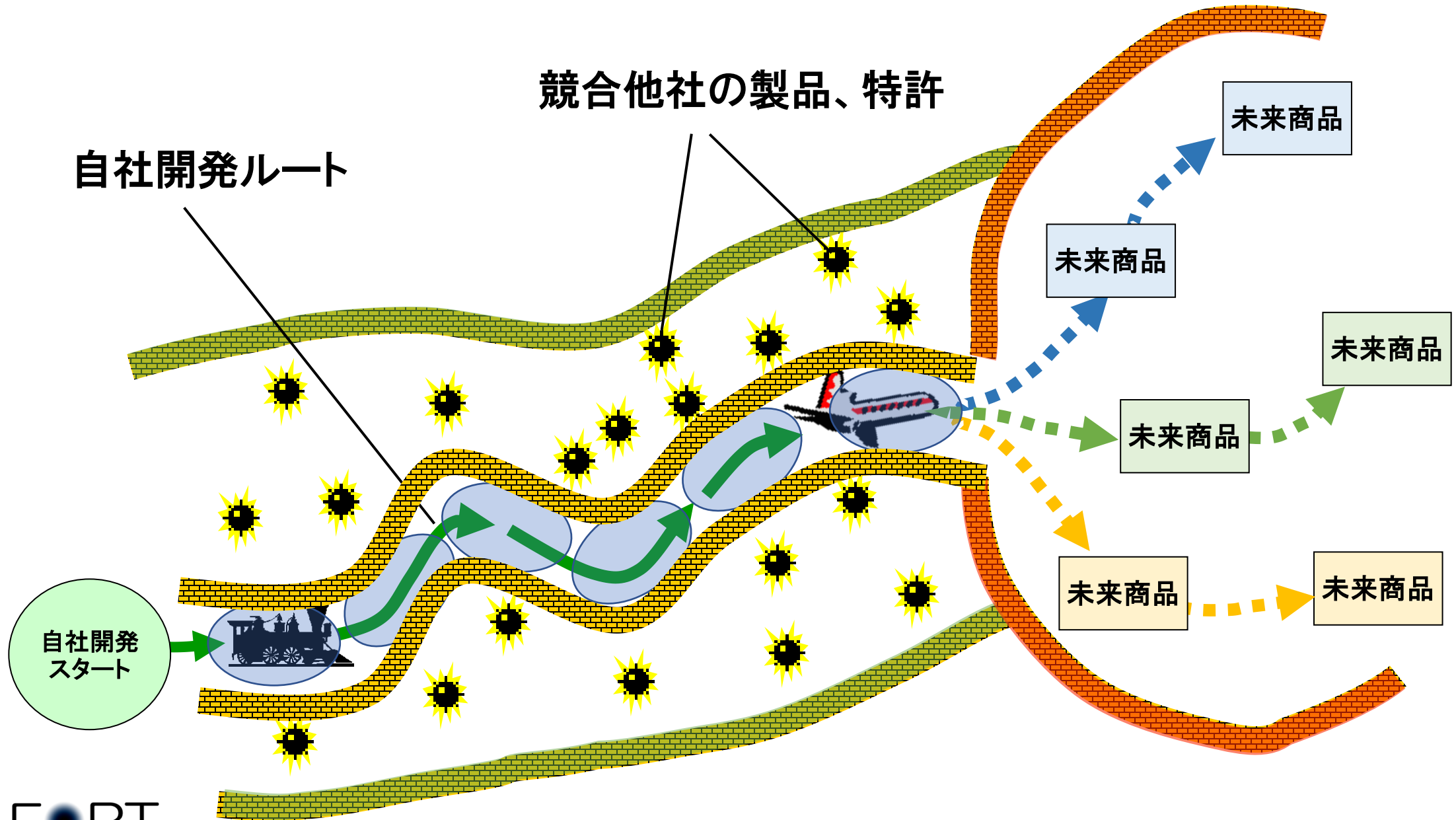
特許から収益を得る

防御

自社製品を防御する

競合他社の製品、特許

自社開発ルート



未来商品

未来商品

未来商品

未来商品

未来商品

未来商品

どのように特許出願してですか？

技術者から発明提案が来たら

新規・進歩性がある程度あれば

予算が許す限り出願する

プロアクティブ特許出願メソッド

先回りで価値の最大化を目指す

特許性強化

防御力強化

収益力強化

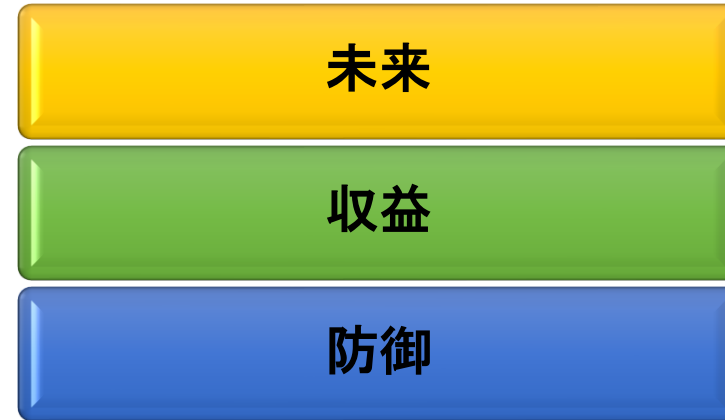
ファミリー計画

- 新規特徴を明確化
- 無ければ考え出す
- チョークポイントを把握
- 抜け道を見つけて塞ぐ
- 期待収穫はどの程度？
- 将来の発展増収プラン
- 家族で価値を最大化
- タイムリーに状況判断



まとめ：強い特許を取るフレームワーク

■トリプレックス 特許ポートフォリオ



■プロアクティブ 特許出願メソッド



参考情報

企業は特許にどれほど投資しているか？

2020年

国内企業の日本特許出願件数ランキング

2020年 出願公開分 - データ更新日：2021年8月12日 -

順位	出願人	件数	前年順位	前年件数	2020年 特許取得件数
1位	キヤノン株式会社	6682	↑ 1位	7408	3682 (1位)
2位	トヨタ自動車株式会社	5617	↑ 2位	6218	2229 (4位)
3位	パナソニックIPマネジメント株式会社	4384	↑ 3位	4821	2644 (3位)
4位	三菱電機株式会社	3711	↑ 4位	4564	3569 (2位)
5位	株式会社三洋物産	2787	↓ 6位	2843	978 (20位)
6位	株式会社デンソー	2591	↑ 5位	2946	1812 (5位)
7位	本田技研工業株式会社	2584	↓ 8位	2450	1583 (7位)
8位	株式会社三共	2389	↑ 7位	2716	1546 (8位)
9位	セイコーエプソン株式会社	2282	↑ 9位	2422	1328 (12位)
10位	株式会社リコー	2180	↓ 12位	2001	1617 (6位)
11位	株式会社東芝	1864	↑ 10位	2332	1314 (13位)
12位	コニカミノルタ株式会社	1647	↓ 13位	1992	1358 (10位)
13位	大日本印刷株式会社	1606	↓ 17位	1762	1036 (18位)
14位	シャープ株式会社	1603	↑ 11位	2157	1022 (19位)
15位	株式会社日立製作所	1569	↓ 16位	1865	1155 (15位)
16位	富士ゼロックス株式会社	1470	↓ 18位	1641	911 (23位)
17位	京セラドキュメントソリューションズ株式会社	1451	↑ 15位	1940	814 (25位)
18位	富士通株式会社	1450	↑ 14位	1983	1459 (9位)
19位	日本電気株式会社	1444	↓ 21位	1618	1338 (11位)
20位	株式会社半導体エネルギー研究所	1369	↓ 26位	1128	879 (24位)

<https://ipforce.jp/Data>

キヤノン

・ 2020年度 年商3兆1600億円

6700件の特許費用

- ・ 6700件×100万（権利化のみ） = 67億
- ・ 海外、維持入れると 130 - 270億
- ・ 売上の0.41 - 0.85%

三菱電機

・ 2020年度 年商4兆5000億円

3700件の特許費用

- ・ 70 - 140億
- ・ 売上の0.15 - 0.3%

大日本印刷

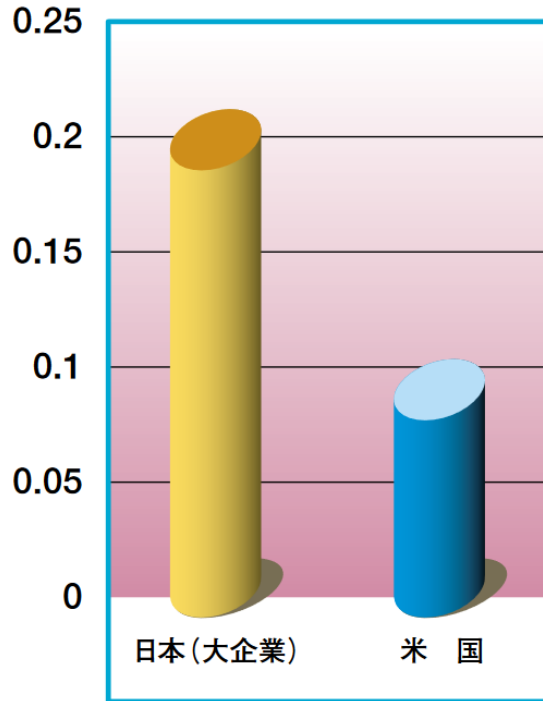
・ 2020年度 年商1兆4000億円

1600件の特許費用

- ・ 32 - 64億
- ・ 売上の0.22 - 0.44%

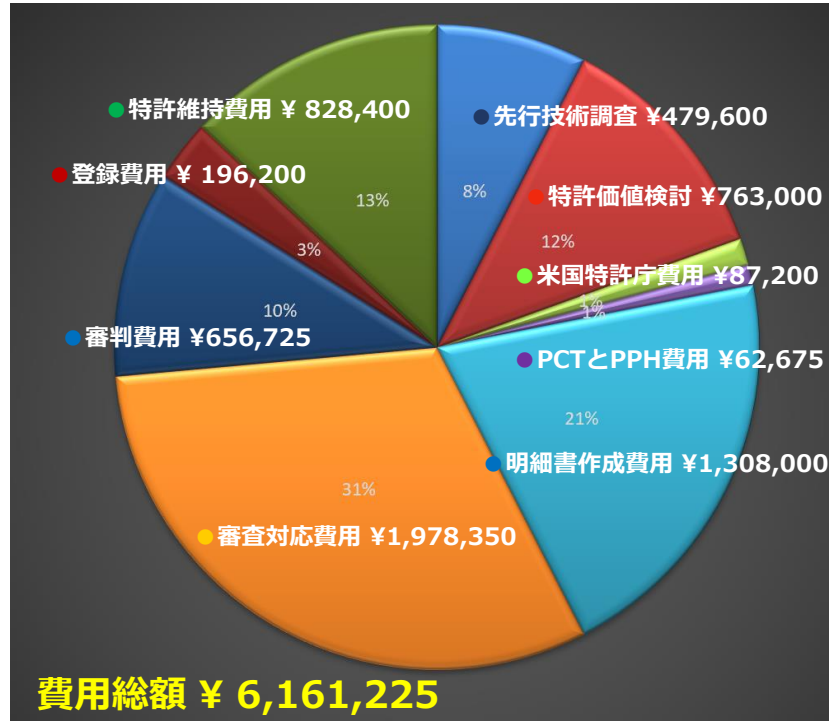
米国企業は日本企業と比べてどうか？

知財コストの対売上高比 (%)



特許年次報告書2000年版

米国の特許費用の平均金額



出所 “Investing in Patents” by Russ Krajec

2020年 米国特許取得数ランキング

Organization	2020 Grants
1 International Business Machines Corp	9,130
2 Samsung Electronics Co Ltd	6,415
3 Canon Inc	3,225
4 Microsoft Technology Licensing LLC	2,905
5 Intel Corp	2,867
6 Taiwan Semiconductor Manufacturing Co TSMC Ltd	2,833
7 LG Electronics Inc	2,831
8 Apple Inc	2,791
9 Huawei Technologies Co Ltd	2,761
10 Qualcomm Inc	2,276

<https://www.ificlaims.com/rankings-top-50-2020.htm>

- 米国企業は日本の半分の年商比0.1%が特許費用：**出願1件当たり費用は日本の3.5倍**
⇒**出願件数1/7で特許からしっかり利益を得る**
- 製造は行わず特許（知的資産）をベースに稼ぐ企業の台頭：**特許が商品である**
例：IBMの2016年特許関連収益1,900億円(年商比2.2%)

大企業だけでなく小企業も然り。特許で巨人に勝つ



零細企業がたった10年で
世界最大のプリペイド・ギフトカード供給業者に
年商2兆円

AppleもAmazonもGoogleも...
だれもが Incommを使う

世界中でPOSA技術を独占

- 世界中で特許 251件
- 日本の特許 29件

(2016年調査結果)

- ◆ Incommの特許を回避してPOSAを行うのは至難のわざ
- ◆ Incommのシステムを使わせてもらうのが一番安くて簡単
- ◆ 特許ポートフォリオを担保に巨大な投資を得た



特許を活かして勝つ企業と、活かさない企業の違い

1. 「特許の位置づけ」が違う

- 負け組：「特許は商品の裏方」と考える。特許は従業員の仕事、社長は無関心
- 勝ち組：「特許も立派な商品」と考える。特許は経営者の仕事、社長が積極関与

2. 「特許出願のプロセス」が違う

- 負け組：発明提案から直ぐに明細書作成へ進む
- 勝ち組：提案発明をじっくり検討して特許を練る
(発明の特許性、他社影響度、収益性、将来発展性、権利化作戦)
(米国企業は日本企業の3.5倍の費用をかける、件数は1/7)
- 負け組：一商品に特許が1~数件、初期に取った特許に安住し増強せず
- 勝ち組：一商品に特許ポートフォリオ、継続的マネジメントで増強する

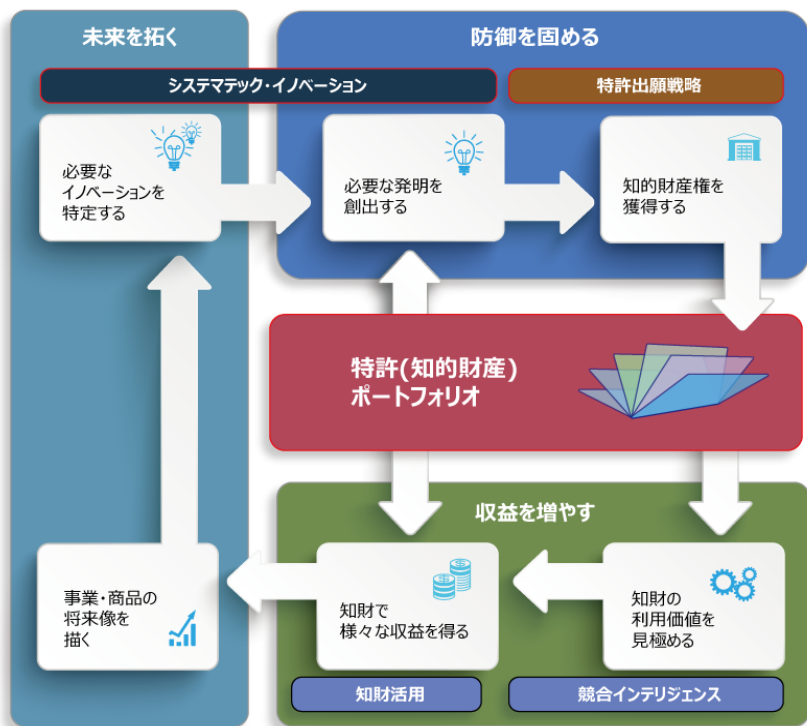
3. 「発明の先進度」が違う

- 負け組：現在（今~2年後）を見て発明する。他社と同じ課題に着眼
- 勝ち組：未来（5~10年先）を見て発明する。他社に先駆け有望課題に着眼
- 負け組：社員の発明脳力を鍛えてない。科学的発明方法を知らない
- 勝ち組：社員の発明脳力を鍛えている。科学的発明方法を活用する

勝ち組になるための戦略的プロセス

特許ポートフォリオを最適化し活かす

■ 知財マネジメント ■



十分高い防御力をもつ特許を取る

■ 特許出願プロセス ■



社員を卓越した発明家に育成する

■ システムティックイノベーション ■

